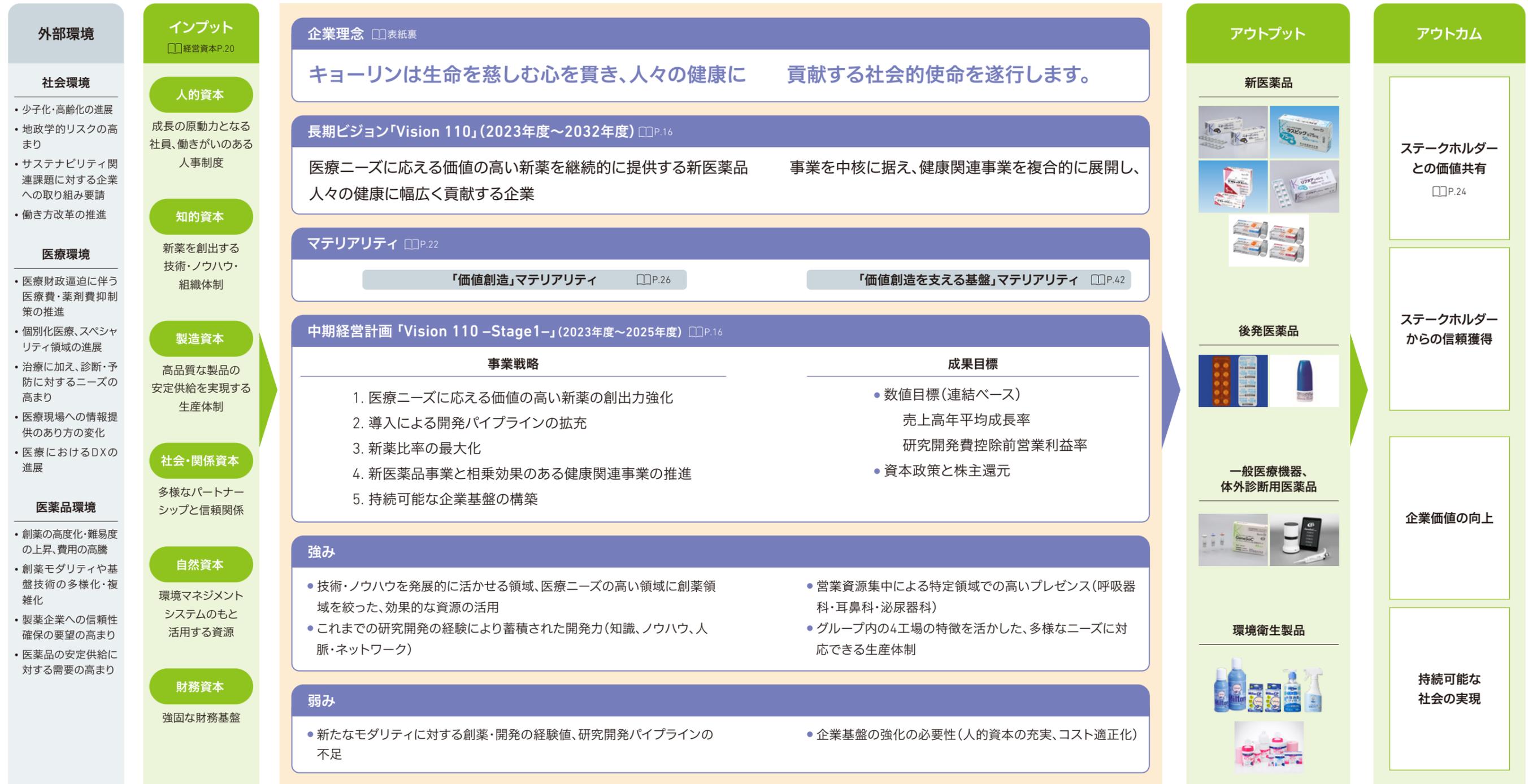


価値創造プロセス

当社グループは企業理念「生命を慈しむ心貫き、人々の健康に貢献する社会的使命を遂行します。」のもと、長期ビジョン、マテリアリティ(重要課題)、及び中期経営計画を軸に事業活動を展開しています。多様な医療ニーズに応える価値の高い新薬を継続的に提供する新医薬品事業を中軸に据え、健康関連事業を複合的に展開することで、企業の成長と社会的課題の

解決に取り組むとともに、その成果を全てのステークホルダーと共有することにより、価値の創造に努めます。この価値創造のプロセスを継続することで、持続可能な社会の実現及び企業価値の向上を目指していきます。



キョーリンの企業成長とともに積み上げ培ってきた経営資本は、事業活動を支え、さらに企業価値を高め創造していくための源泉です。それぞれの資本を維持・強化することで、企業価値の最大化と持続的な成長を目指します。

人的資本



成長の原動力となる社員、働きがいのある人事制度

- 社員を大切に、人と組織を活性化することが、事業戦略を遂行し、成果を実現するための重要課題です
- 創業者の思いである「事業は人にあり」という考えを承継し、優れた人材の育成及び獲得、社員の働きがい向上に繋がる適正な人事制度の改定・運用を図っています
- 「働きがい」を追求し、活力あふれる会社を目指して、多様な社員が自律的に成長し活躍できる環境づくりを推進します
- 多様な価値観を尊重した働き方改革、社員の健康を重視する健康経営の推進などに取り組んでいます

人材マネジメントシステムの運用

従業員一人当たりの教育研修費

6.0万円

エンゲージメントサーベイ

「働きがい」スコア※

4.53

※社員の働きがいに関わるアンケート(自社内で実施)。7段階評価の回答を最高点7として得点化

知的資本



新薬を創出する技術・ノウハウ・組織体制

- 医療ニーズに応える価値の高い新薬の創出力強化を目指し、新たな創薬戦略による創薬イノベーションに挑戦しています
- 特定の創薬研究領域に経営資源を集中させ、効果的な創薬テーマの創出と推進を図っています
- 創薬技術として、低分子創薬のさらなる強化に加え、核酸創薬等の検討や、外部技術の積極的な活用に取り組んでいます
- 開発パイプラインの拡充に向け、対象となるモダリティや疾患領域を拡大し、幅広い導入活動を行っています

研究開発費

105億円

研究開発費対売上高比率

8.1%

研究開発拠点

2か所

製造資本



高品質な製品の安定供給を実現する生産体制

- 高品質な医薬品を安定的に患者さんにお届けすることが、製薬企業の重要な使命です
- 事業環境の変化に対応するため、信頼性保証体制の強靱化を推進するとともに、サプライチェーン・マネジメントの強化、医薬品生産能力の向上と製造原価の低減に取り組んでいます
- 新たな生産拠点として高岡工場が2024年4月に稼働。4工場体制のもと、製造品目の全体最適化を進め、製品供給能力の最大化を図ります
- 継続的な生産リソースの投入や工程改善により原価低減を実現し、持続可能な生産体制の確立を目指します

グループ工場

4か所

能代工場

高岡工場

井波工場

滋賀工場

社会・関係資本



多様なパートナーシップと信頼関係

- 医薬品の研究開発・生産・販売等を通じて人々の健康へ貢献し続けるためには、ステークホルダーとの関係強化が不可欠です
- 患者さん・医療関係者への有益な情報提供、事業活動の基盤となる地域社会への貢献、取引先・関係先とのパートナーシップ促進、従業員のエンゲージメント向上に取り組んでいます
- 外部の優れた研究や技術の導入、ワールドワイドでのパートナーリング活動の展開を図っています
- 適時・適切な情報開示とともに、投資家の皆様との高質な対話の機会を設置します

主なパートナーリング企業

34社(12か国) □□P.29

IR面談数

30回

自然資本



環境マネジメントシステムのもと活用する資源

- 「環境問題への取り組みは人類共通の課題であり、企業の活動と存続に必須の要件として、主体的に行動する」と企業行動憲章に掲げ、気候変動への対応を含む環境に配慮した事業活動をマテリアリティの一つとしています
- サステナビリティの基本方針に基づき、事業活動のあらゆる場面で、省エネルギー・省資源、廃棄物の削減、化学物質の管理強化など、環境負荷物質の削減と限りある資源の有効利用を推進します
- 目的・目標の設定と見直しにより、環境保全及び汚染予防に主体的、積極的に取り組みます

エネルギー使用量

516,723GJ

取水量

261千m³

CO₂排出量(Scope1+Scope2)

24,275t

財務資本



強固な財務基盤

- 製薬企業が持続的な成長を実現するためには、中長期的な視点でのオリジナル新薬の創出に加え、短期的スパンで成果が見込める導入品獲得への、積極的な成長投資が必要となります
- 新薬創出のための研究開発と導入品獲得に向け、集中的かつ機動的な投資を実行しています。その成長投資を支える資金調達は、様々なリスクを考慮しつつ、財務健全性を維持しながら、財務レバレッジの活用等についても積極的に検討していきます
- 株主・投資家の皆様への還元についても、資本構成の適正化を図りながら行っています

純資産

1,363億円

自己資本比率

70.4%